

はじめに

このファイルは注意事項を主に書いています。詳細は PotKey セットアップディスク内の PotKey.txt をご覧下さい。

PotKey のインストール方法

PotKey をインストールするには PotKey セットアップディスクをフロッピードライブにセットし、セットアップディスク内の Setup.exe を実行します。

例えばフロッピードライブが A の場合、スタートメニューから [ファイル名を指定して実行] を選び、A:¥SETUP[Enter] と入力します。

操作方法などについてはインストールディレクトリ (¥Program Files¥MuraoDos¥Potkey) 内の PotKey.txt または PotKey セットアップディスク内の PotKey.txt をご覧下さい。

かな漢字変換を確実に行うために

PotKey で IME かな漢字変換を使用する場合次の点に注意してください。

IME の入力方式はローマ字入力、漢字キー単独で IME を ON/OFF、初期入力モードはひらがな、変換キーはスペースキーに設定してください。

すでに IME がオンになっている状態で PotKey を (点字のへ+C) で変換モードにすると IME はオフになってしまいます。この場合は PotKey で (C+D+S) で変換モードになっていることを確認した後 (点字のへ+C+S) を押し、IME の状態だけを変更してください。

ファイルメニューの開き方

一部のプログラムでは Alt キーを押すだけでファイルメニューが開きますが、PotKey は Alt キーだけを送ることは出来ません。

本来ファイルメニューは Alt+F で開くのが Windows の標準です。PotKey でファイルメニューを開くときは Alt+F を押してください。

Win-BES99

IBM 社提供のフリーソフト Win-BES99 を使用する場合は、Win-BES99 側の入力設定で入力方式を [6 点] に、1~6 の点を [F]・[D]・[S]・[J]・[K]・[L] に設定する必要があります。

デスクトップがアクティブにならない

デスクトップをアクティブにしようとしてもうまくアクティブにならないことがあります。これは Windows98 で仕様変更されたために起こる現象です。

PotKey セットアップディスクに同梱の TSF.EXE を実行することでこの問題は回避できます。但し、多少危険が伴う可能性がありますので必ず TSF.TXT を読んでから使用してください。

Alt/Ctrl/Shift キー

Ver.2.3 までは (C+S) で Alt/Ctrl/Shift のうちいずれかを選んでいましたが Ver.3.0 からは (D) と右側の点字キーで複数を選べるように変更しました。詳しくは PotKey.txt をご覧下さい。